

議会だより



《愛宕公園 のへじ光物語2022 (町民の方からの写真提供)》

町の魅力いっぱいの写真 (jpgデータ) をお待ちしております。
メール gikai@town.noheji.lg.jp



野辺地町
ホームページ
(野辺地町議会)

POINT 01	過去・現在・未来 進むべき道は 令和3年度決算を総括	2
POINT 02	職員の意識改革など 5議員が町政をただす	5 ~ 9
POINT 03	議場燃ゆ 新庁舎建設へ~議論をつくして~	10

(4億296万円繰越)

◆歳入の主なもの

- ・町税は前年比1.7%増とほぼ横ばい。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など国庫支出金14億4830万円余り。

第4回 9月定例会

あらまし

令和4年第4回9月定例会が9月5日～9日の日程で開催されました。

一般質問では、5名の議員が登壇。(質問内容は、5～9ページ)

審議した議案は、令和3年度の各会計の決算と補正予算や条例などで、その全てを全会一致で原案のとおり認定・可決・同意しました。

令和3年度決算の
詳細は広報のへじ
11月号から



響なし”

依存財源



国庫支出金 県支出金 町債 その他



令和3年度
歳出

コロナ対策と 地域経済の活性化



住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業
1億7814万円



子育て世帯への臨時特別給付金事業
1億4315万円



新型コロナウイルス感染症対策費 9706万円



事業者支援給付金事業 2220万円
感染対策安全・安心認証制度事業 1160万円



除雪対策費
1億3189万円



小・中学校のエアコン整備費
1億1965万円

過去・現在・未来 進むべき道は

令和3年度一般会計

歳入 78億2020万円

歳出 74億1724万円

令和3年度
歳入

コロナ2年目 財政に“影”

自主財源

令和3年度
78.2億円

13.3億円

5.7億円

27.7億円

町税

その他

地方交付税

令和2年度
80.6億円

13.0億円

3.9億円

24.0億円

※金額は千万円未満四捨五入しているので合計額と不一致になる場合があります。

令和3年度決算 監査委員の見かた

今後も財源不足が続く

一般会計での実質収支は、3億9272万円余りの黒字となった。

経常収支比率は、前年度と比較して8.6%減の91.3%となったものの依然として厳しい状況にあり、今後、役場庁舎建設費、公債費等支出が予定されており、財源不足の状況が続くことが予想される。財政動向の推進を厳しく見据えながら、行政改革の推進と財政規律の確立に努めていただきたい。

経常収支比率

91.3%

令和2年度 99.9%

経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。高いと義務的経費（人件費、公債費等）以外に使える財源に余裕がないことを示す。

なにコレ？

『地方交付税』財政力に応じて国から交付されるお金
『国庫・県支出金』事業に対して国・県から補助されるお金
『町債（地方債）』事業の財源に充てるため国などから借りたお金
『実質収支』歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額から、年度内に支出が終わらない見込みのものを控除した額

ギカイからみて

決算数字と現実的な感覚が...

国庫支出金が約7.6億円減となったが、自主財源の増と歳出の削減により経常収支比率の改善がみられた。しかし、町民の生活や経済活動が制限・苦境に面している。数字には見えないコロナ下の影響がある。

生活を守れ

大学生等応援事業 2660万円

大学生等又は
保護者1人あたり
10万円給付



燃料費助成 2121万円

65歳以上の方
みの非課税世帯
へ助成券を配布



子どもを守れ

給食センター賄材料費

181万円

食料高騰に伴う
給食費の値上げ
分を補填



一般会計補正予算

どう活かす？ コロナ対応地方創生臨時交付金 7362万円

ロシアのウクライナ侵攻による影響によって、世界規模で原油や穀物等の価格が高騰。コロナ禍で社会活動の回復を止めない町独自の支援策とは..

福祉を守れ

介護・福祉・医療事業所
燃料費等高騰対策給付金

2274万円

食料費・光熱費・
燃料費等の単価高
騰相当分を支給



産業を守れ

農林畜水産業

燃料費等高騰対策事業

1550万円

燃料費・資材・
肥料等の単価高
騰相当分を支給



観光関連事業者

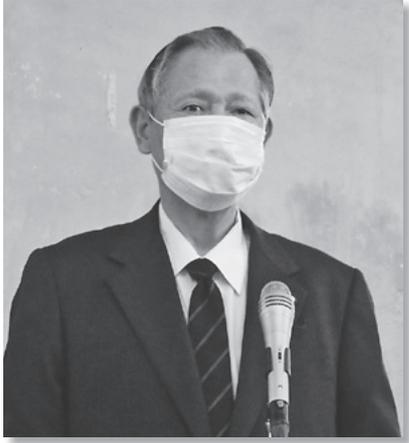
燃料費等高騰対策事業

200万円

燃料費・電気
料金等の単価
高騰相当分を
支給



議案と概要	審議結果
令和3年度決算	
一般会計	認定
国民健康保険事業特別会計	認定
後期高齢者医療特別会計	認定
介護保険事業特別会計	認定
介護サービス事業特別会計	認定
下水道事業特別会計	認定
水道事業特別会計	認定
令和4年度補正予算	
一般会計（第4号） 3億6300万円増 予算総額76億200万円 地方創生臨時交付金を活用した事業、財政調整基金積立金に追加。	全員賛成 可決
国民健康保険事業特別会計（第2号） 4764万円余り増 予算総額16億6913万円余り 前年度繰越金の増額。	全員賛成 可決
後期高齢者医療特別会計（第2号） 302万円余り増 予算総額1億9785万円余り 前年度繰越金の増額。	全員賛成 可決
介護保険事業特別会計（第2号） 8132万円余り増 予算総額18億1145万円余り 前年度繰越金の増額。	全員賛成 可決
水道事業特別会計（第2号） 資本的支出 50万円増 予算総額1億7870万円 建設改良費の増額。	全員賛成 可決
条例改正	
野辺地町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするための措置を講ずるもの。	全員賛成 可決
人事	
野辺地町教育委員会委員の任命 中村公允氏が9月30日をもって任期満了となるため、新たに亀田小織氏を任命。	同意



えと まさき
江渡 正樹議員

8 町まがいの
経済成長



職員の意識改革を

町全体の発展のため進める（町長）

問 職員の意識改革によるまちづくりの考えは。

町長 職員が業務を執行していく上で、町民の立場で考え、行動することは、非常に重要なことであると認識しており、機会あるごと職員に対し、訓示している。職員は、全町民の福祉の増進を図るため、町民が何を求めているか常に意識しつつ、知恵を出し、積極的に地域課題の解決に取り組まなければならない。

行政のプロとして専門的知識を習得することはもちろん、幅広い視野と柔軟な思考も養いながら、前例や規制概念にとらわれないことなど、新たにチャレンジしていくことも必要である。

職務における職員の能力や業績を評価し、給与や人事に反映させるための人事評価制度を実施しているが、その中で、仕事に対する意欲・態度や、創意工夫・政策形成していく力などを評価項目に取り入れながら、職員自らが自己研鑽に取り組む土壌づくりに努めているところであり、職員の意識改革につながると思っている。また、町民との信頼関係を築くための接遇意識の向上も重要である。

全職員が一齐に同じ方向を向いて、意識改革に取り組むことが理想であるが、何よりも職員自らの気づきが不可欠である。職員一人一人が現状の課題を認識し、危機意識をもって自発的に取り組むことが大切である。

事に取り組み、将来を見据えた広い視野と柔軟な考えを養ってもらうことが、町全体の発展につながると考えているので、実現できるような職員の意識改革を進めていきたい。



12 つくる責任
つかう責任



大雨被害にあった農家への支援は 必要に応じた支援に努める（町長）



あかがき よしのり
赤垣 義憲 議員

問 8月の大雨によるこかぶ農家への支援は。

町長 生産者には、農業振興対策協議会から肥料等購入に充てる補助金を交付しているほか、本定例会に補正予算を計上し、燃料費や資材高騰対策事業として、給付金を交付する予定である。

新たな支援については、農協と情報を共有しながら対応を協議・検討することとし、県に被害状況等を説明して支援を要請している。町としては、必要に応じた支援に努めることとしたい。



健康増進センター内
「こそだて応援ステーションふわふわ」

問 子育てしやすい町づくりの実現に向けての考えは。

町長 令和2年度から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を一体的に実施する「野辺地町こそだて応援ステーションふわふわ」を開設している。そこでは、保健・教育・保育その他子育て支援に関する情報提供及び必要な相談、助言等を行う

「こそだて応援コンシェルジュ」である保健師、助産師等を配置し、妊産婦、赤ちゃんから18歳までのお子さん及びその保護者が子育てできるよう、切れ目のない支援を行っている。



統合小中学校建設計画の見直しは

調査結果により判断する（町長）

問 障害をもつ子どもに対して、学校や町の支援や対応は。

教育長 特別支援担当の教員は、研修を受講し、知識を高めながら対応している。資格の有無に関わらず、先生の適正を見ながら、専門性の高い人員を県との人事協議により確保していきたい。

町での支援は、特別支援に該当する児童生徒に対して、学用品、修学旅行費、給食費など就学奨励費補助金を支給し、保護者の負担軽減を図っている。

また、幼児、児童、生徒の早期からの相談、適切な就学先及びその後の一貫した支援の内容について、適切な助言を行う教育支援委員会を設置している。保護者か

らの相談や検査を経て、保護者に特別支援学校か地元の学校の支援学級を説明している。

問 耐力度調査の前に、小中学校建設計画を策定すべきでは。

町長 調査結果において、基準を満たしていれば安全の保証を確保でき、基準を満たさない場合は、建設計画策定を判断できると考えている。

問 公共施設の更新の優先順位や施設複合化の検討は。

町長 公共施設等総合管理計画の基本方針に従い、更新、統廃合、長寿命化を進める。



ここでは、ダイジェスト版でお知らせしています。
詳細は会議録をご覧ください。(12月上旬調製完了予定)



とおみなと **大湊** としゆき **敏行** 議員



新しい時代の学び舎づくりを 用地制限等により困難 (町長)

問 調査中の統合小学校新校舎と老朽化が進む公共施設を、新たに複合化・共有化施設にしては。

町長 統合小学校

新校舎の建設予定地は、野辺地小学校のグラウンドを想定して進めているが、その理由として、校舎、グラウンド、体育館が一体的に整備され、駐車場の確保と登下校時における送迎、校外学習等での大型バス利用の際に交通への影響が少ないとされる場所である。野辺地小学校のグラウンドでは、施設

の一体的整備でやると収まる面積であるため、想定している中では、用地制限により施設を増やすことは非常に厳しい。

問 自治体DXの推進に対する当町の取組状況と今後の方針は。

町長 主な取組

あるマイナンバーの普及促進では、休日交付窓口を開設しており、さらなる取得促進を図るため、出張窓口による申請受付なども実施予定である。

行政手続のオンライン化は、受付体制が整っていないため、電子申請を開始できないが、町への申請・届出等の押印省略の見直しを行った。

今後は、専門知識を有する職員の育成・専属の部署を設けることも視野に、

急激に進む国のデジタル社会化の推進に乗り遅れることなく、町民ニーズに対応していきたい。

なにコレ?

自治体DX推進計画は、国が主導的な役割を果たしつつ、自治体が足並みをそろえて行政サービスへのデジタルの活用を図ることにより、住民生活をよりよい方向へ変化させていくデジタルトランスフォーメーション化、いわゆるDX化を推進するため、令和2年12月に総務省が策定した計画。

ごみ排出量削減施策の検証は 取組を継続する (町長)

問 家庭用水切り器の配布によるごみ排出量削減施策の効果検証は。(追跡・令和3年9月定例会で質問)

町長 町広報紙に

よるごみの分別等の啓発とお願いを行ったところ、家庭系可燃ごみの年間排出量が約37トン削減された。家庭系ごみ全体でも約34トンの削減が図られた。

この結果から、水切り器の配布やごみ減量化の取組が一定の成果として数字に表れていると思うので、町民の皆様の御協力に感謝申し上げます。

今後もこの取組を継続し、検証を進めていきたい。





海水浴場の適切な管理を

対応の検討を進めていきたい (町長)



たかさわ ようこ 高沢 陽子 議員

問 国道279号線沿いの海浜公園駐車場トイレの改修を。

町長 設置後、25年が経過しており、修繕等は行ってきたが、明るくきれいなトイレとは言い難い現状である。国の交付金を活用して整備した経緯があるので、国や県との協議を行い、改修を検討していきたい。

問 海水浴場の冬期間を除く通年開放は、(追跡・令和元年9月定例会で質問)

町長 費用対効果の面から慎重に検討すべきと考えているが、町民の憩いの場、町外からの誘客にお



海浜公園駐車場のトイレ

いて、効果的な施策かという検討は進めたい。

炭の燃えカスの放置、犬の散歩などの禁止行為防止の改善については、張り紙や看板で周知しているが、利用者のマナーやモラル向上を図るため、引き続き周知徹底を行い、町ホームページやSNSなどを利用して働きかけを行い、利用者等へ協力をお願いする。

問 コロナ下の影響を受ける「まかど温泉スキー場」のナイター営業も含む町の支援は。

東北大会以上に出場する選手の事前合宿費の補助も継続していきたい。



風力発電が自然に及ぼす影響は自然環境への調査と配慮で判断 (町長)

町長 昨年度から国の交付金を活用した支援を実施しており、引き続き支援する。

しかし、8月の大雨で斜面の崩落によるリフト支柱の倒壊など大きな被害を受け、今シーズンの営業に厳しい見方をしている。可能な支援を積極的にやりたい。

問 スキー競技の選手育成に対する支援は。

町長 スキー競技の選手育成は、学校でもオリンピック出場選手の紹介や、体育の授業を通して底辺の拡大を図っている。東北大会以上に出場する選手の事前合宿費の補助も継続していきたい。

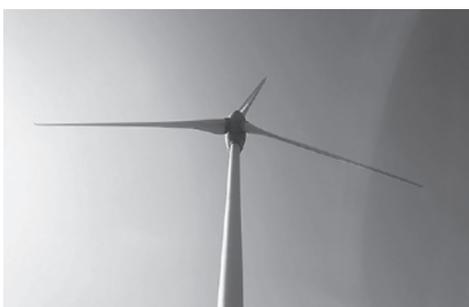
問 野辺地柴崎風力発電所の風車設置場所周辺の樹木の伐採と、返還時に原状回復する契約は。

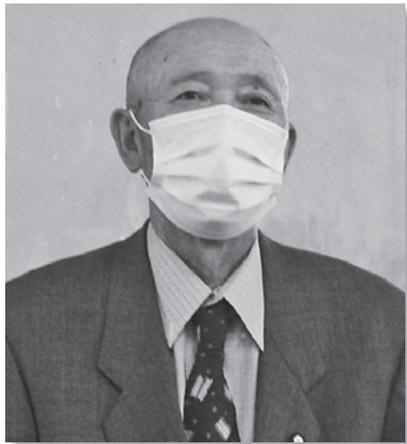
町長 標高が低い側の1号機の搬入路入口付近で建設に支障があった雑木の伐採を許可している。設置場所周辺の土地の復元だが、町有地であることから、行政財産使用許可を行う際に、返還時には原型に回復することを約している。

問 (仮称)みちのく風力発電事業について、事業者から説明があつたのか。

町長 烏帽子岳を含むエリアについて、令和元年11月に事業検討の説明を受けているが、地元の見解や地権者等の意見も踏まえて、風車の配

置を検討している。当町としても、地元住民の意見、生態系や植生等改変の回避や低減、搬入路整備に伴う環境への影響等、十分な調査と最大限の配慮の上、判断してもらいたいと考えている。





なかや けんいち
中谷 謙一議員



新庁舎建設の町民負担増の責任は 世界経済情勢によるもの（町長）

問 新庁舎建設は、事業費増で3回の入札を経て、落札されたが、町民負担増の責任は。

町長 2度の入札が不落となったことを受け、すぐに原因調査したところ、公共工事の発注に使う設定単価の改定スปีドに比べて、市場等における建設・資材物価が上がっていくスปีドのほうが速かったため、町が予定する上限価格よりも入札価格が高く、落札しない状態になっていた。

事業費増は、世界情勢の変化によるもので、行政として不適切な仕事をしたためではない。

問 原子力立地給付金を事業費に充てることへの詳しい説明は。（追跡・令和4年6月定例会で質問）

町長 平成30年度から原子力立地給付金の取扱いについては、町民の皆様のご意見をお伺いして、新庁舎建設事業のため、当分の間ご協力いただくことに決定



新庁舎建設場所の一部

している。

町ではご協力いただく期間について、これまで明確にお示しできなかったが、工事請負契約が成立したことから、町民の皆様にご協力いただく期間を算出し、かわら版第5号や町ホームページでお知らせし、ファンミーティングで説明した。町民の皆様のご理解とご協力をいただくため、各種集會行事等の機会にも説明していきたい。



野辺地病院のハラスメント問題は 事務組合に町が関与できない（町長）

問 野辺地病院のハラスメント問題について、町が独自に調査や改善等を行わないのか。（追跡・令和4年6月定例会で質問）

町長 北部上北広域事務組合は、3町村で構成する地方自治法上、一つの特別地方公共団体であり、議会も有する組織である。野辺地町が事務組合を超えて関与できない。
この事案は既に事務組合内での調査を行い、結果を事務組合議会に報告している。

令和4年第3回8月臨時会が8月8日に開催されました。

令和3年度一般財団法人野辺地町観光協会の決算報告の後、庁舎等新築工事請負契約議案の採決の結果、可否同数のため議長裁決により可決しました。

開会后、冒頭に赤垣義憲議員から、戸澤栄議長の不適切発言が議会や議員の混乱を招くとして、議長不信任の動議が提出され、動議成立後、賛成多数により可決となりました。(議決には法的拘束力はありません。)

第3回 8月臨時会

契約に同意できない

赤垣義憲 議員

事業費に納得できない

落札者決定後の町長のコメントが不適切であり、最終的に事業費が大きく膨れた。

契約締結すべき

民意を議会へ

令和元年の町民アンケートでの結果を議会に反映すべきだ。

岡山義廣 議員

野坂 充 議員

事業費が高すぎる

2回目の入札での最低入札価格より、1億6000万円も高い。

町の進め方に異論ない

町長は議会で一つ一つ審議してきた。

江渡正樹 議員

議場燃ゆ

議論をつくして

ついに新庁舎建設へ

反対 5



高田 中谷 古林 野坂 赤垣

賛成 5



江渡 岡山 高沢 杉山 大湊

議案の概要

工事の名称	野辺地町庁舎等新築工事
契約方法	指名競争入札
請負代金	21億4379万円
契約の相手	大豊建設株式会社東北支店 執行役員支店長 浅沼 和幸
工事期間	議決し本契約の意思表示をした日から 令和6年12月20日まで

* 地方自治法及び条例により5000万円以上の工事の請負契約は、議会の議決に付します。

財政運営等に大きな影響を与える契約は、長のみに判断を委ねず、議会にも検討の機会が与えられます。

8月3日 子ども医療費・すこやか医療費の受給資格の認定誤り

再発防止の徹底を

委員長 高沢 陽子

◆事案発覚の経緯

税制改正に伴う児童扶養手当施行令が改正され、施行後も令和2年度分所得を算定する令和3年7月から令和4年5月までの間、10万円を控除せず従前どりの所得算定を行っていた。

令和4年6月にすこやか医療費の年度更新準備で課税台帳との突合作業の際に、システムに10万円控除が適用されていないことで認定誤りが発覚した。

◆遡及認定者

子ども医療費 20世帯25名
すこやか医療費 2世帯5名

◆再発防止策

法令改正等の対応は関係課との連携を密にし、システム保守業者とも情報共有を図り、適切な事務執行に努める。

視察レポート

8月3日 ICT教育の現状と教育委員との懇談



教壇と各タブレットをつなぐ



タブレットでドリルを解いてみる



教育委員と自由に意見交換

〈懇談テーマ〉

『教育レベル向上による当町への移住・定住について』
『全国的に問題となっている教員不足の当町の原状と解決に向けて』
『優秀な教員獲得のための施策について』

8月4日 新型コロナウイルスワクチン接種状況

ワクチン接種の勧奨を

委員長 岡山 義廣

◆ワクチン接種状況

令和4年6月末現在で3回目を終えた方は、65歳以上で92%、18歳から64歳で75.9%、12歳から17歳で60.2%、5歳から11歳で2回目接種では47.6%である。年齢区分による接種率の差異は、接種開始時期によるもの。

◆4回目接種

感染による重症化リスクが高い、3回目接種を終え5か月以上経過した60歳以上、18歳から59歳で基礎疾患を有する方、医療機関、高齢者施設、障害者施設などの従事者も対象となる。

委員から質問

ワクチン接種を勧奨し接種率を高めては。

町からの回答

広報等で啓蒙しているが、接種は任意である。しかし、感染後の重症化リスクを軽減させることにつながるため、勧奨について検討する。

視察レポート

7月5日 こかぶ農家激励訪問



肥料価格高騰に頭を抱える



美しいまでに整列された野辺地葉つきこかぶ

